

平成31年

プラザだより

4月号

E-mail : c-asahigaoka@city.suzaka.nagano.jp

発行 旭ヶ丘ふれあいプラザ
026-246-3783第7ブロック人口(30年3月)
男 1,734人(+2人) 女 1,990人(+2人) 世帯数 1,458戸(+3戸)

“第6回地域ふれあい春まつり”開催

3月21日、地域づくり推進委員会と地域づくり推進プロジェクトの主催により晴天の中盛大に開催されました。

屋外での「ふれあい市」では、野菜や果物など販売され、1時間ほどではほぼ完売となりました。屋内では、「羊毛フェルト・キラキラボトル・LEDデコレーション・ひもパズル・ペーパークラフト・木工クラフト・バルーンアート・輪投げ」などの体験ワークショップが行われ、大勢の皆さんが楽しみました。どのコーナーも一時的には行列ができるほどの人気ぶりでした。また、「おやき・銘菓一万石・靴下・手芸作品」などの販売もあり、大勢の皆さんが買い求めていました。

11時からの落語会では、地元旭ヶ丘町の秋谷徹さんが「野ざらし」を演じ、聴衆を沸かせてくれました。つづく食事の振る舞いでは、スタッフが腕によりをかけたカレーライスを多くの皆さんがおいしそうにいただいていた。総勢約280人の来場がありました。



ふれあい市



バルーンアート



カレーの振る舞い



落語会



キラキラボトル



羊毛フェルト

平成30年度旭ヶ丘ふれあいプラザの職員体制は、館長 勝山昇、指導員 内藤宣子、主事 斎藤恵理(新任)です。

上記の常勤スタッフで旭ヶ丘ふれあいプラザの運営に当たっていきます。すこやかふれあい広場には、引き続き小林澄子保健師と市川ゆう子介助員が勤務いたします。

よろしくお願いいたします。

依田幸子主事は退任いたしました。
「3年間地域の方々には大変お世話になりました。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。」

3月のすこやかふれあい広場

第1週は北旭ヶ丘保育園の年長児さんとの年度最後の交流会と、キラキラぱ〜くさんとのお楽しみ会がありました。得意技の発表では、4月から小学生になるだけあって、それぞれの技を堂々と見せる姿にすこやかさんからたくさんの拍手が沸き起こりました。また2年生になって交流ができるのを楽しみにしています。キラキラぱ〜くさんとのお楽しみ会では、トーンチャイムという素敵な音色の楽器で一緒に演奏したり、カラフルなパネルシアターや言葉



遊びなどを楽しんだり、恒例のビンゴゲームや、PTAの有志の皆さんによるお料理で、とても和やかな時間を満喫させていただきました。第3週には、2月に引き続き藤澤佳子先生の体操教室「長生きサンバを椅子で踊ろう」で元気よく体を動かし、80代90代の若さを保つ体操を教わりました。29年度最後の週は、長野市の水野美術館へ行き、日本画の描く四季折々の花めぐりを堪能してきました。長生きサンバの歌詞「100歳なんてまだ若い」を目指して、来年度もすこやかふれあい広場の活動は続きます。

平成31年度プラザを使用する団体の皆様へ

使用許可申請書をまだ出してない団体は至急提出し、許可を得てください。年度ごとに提出していただく必要があります。

申請書はプラザにあります。



～平成30年度最後の地域づくり推進委員会を開催しました～

第6回目となる今年度最後の会議を3月8日に開催しました。事業報告と決算見込み及び来年度の事業予定と予算見込みなどについて協議していただきました。また、地域づくり市民会議での提案事項について現在の状況、特に松川の堤防管理道路整備関連の進捗などについて説明いたしました。

委員の皆様には一年間ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

【図書室より館長おすすめの一冊を紹介します】

「將軍慶喜を叱った男 堀直虎」 江宮隆之 著

一万五十三石という全国でも最小の小藩「須坂」。第十三代藩主の堀直虎は、幕末の徳川幕府が最も困難な時期に若年寄兼外国惣奉行という、現代で言えば「外務次官」にあたる小藩藩主としては異例の要職に就く。

だが、須坂藩内では重役の賄賂が横行、人心も疲弊していた。直虎は藩政改革を断行、さらに洋式軍備を取り入れるなどして幕末の激変期に備える。

やがて十五代將軍慶喜の大政奉還後には、親友の土佐新田藩藩主の山内豊福とともに、御三家紀伊大納言らに幕政堅持を訴えることに。そして朝廷への恭順か抗戦かで揺れる江戸城中で、直虎は自刃して果てる。記録には「諫死」とのみ。「誰に」「何を」諫めたのか…。

～ 武家の誇りを高く抱き、

時代を見る英知を備えた若き大名が選んだ矜持を描く！～

本の貸出しをしています。ご利用ください！



須坂藩にこんな殿様がいた！